



みんなでつくる

男女共同参画社会

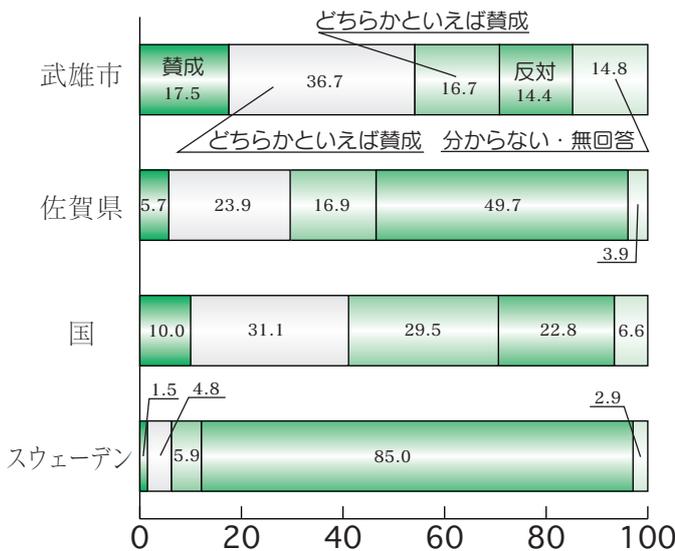
できることから一步一步



市民意識調査結果シリーズ② 家庭生活

平成18年10月に意識調査を実施しました

夫は外で働き妻は家庭を守るという考え方をどう思いますか？



男女別に見ると武雄市では、男性は20歳代を除いて全年代で「賛成」の意見が多く、特に60歳以上の年齢層ではその割合が高くなっています。一方、女性では、19歳以下から40歳代までの年齢層では「反対」の回答が多く、50歳代以上では、「賛成」が多くなっています。

国や県ではすでに「反対」意見が「賛成」を上回りました。

個人や家族の役割りを、他人や社会から男女の性別を理由として決め付けられるのではなく、男女ともに意欲や能力によって夢や希望を実現、それぞれが主体的に考えていける社会を目指します。

「わたしの思う男女共同参画」シリーズ 6

市内のあちこちで、男女共同参画へのご意見を伺いました。

質問 武雄市では、男女共同参画社会づくりは進んでいると思いますか？

男女共同参画社会づくりのための出前講座始めます

ひとひとネット武雄（県男女共同参画推進員等の会）では、男女共同参画に関する学習会や懇談会に出席してお話をさせていただきます。みなさんの地区で、グループで、ぜひお声をかけて下さい。お申し込みは、開催日の2週間前までに、下記までお願いします。

事務局 庭木 (23-3514)
企画部男女参画課 (23-9141) まで



担当 綿島

回答：どちらかといえば進んでいると思う

意見：今は、男だ女だと言わないでお互いに助け合い生活をしてゆく家庭が多くなったと思います。

今、私も婦人会の仕事やがばいばあちゃんて出かける事がとても多くなりました。このような活動は、家族の協力がないとできません。

女性が出かける時に「また行くとや」とか「何時に帰るや」とか「おいの昼飯はどうするとや」とか言われると、段々外に出にくくなり女性の元気がなくなります。男女共同参画推進市民会議委員として関わっていますが、難しく考えないで、ふだんの生活の中で男女の立場を入れ替えて考えてみるだけでも何か見えてくるのではないかと思います。

男性も、残業ばかりの仕事人間から、地域の中で人と人のつながりの中で楽しく暮らす立場に変わるのもいい事だと思いますよ。



武雄市地域婦人連絡協議会会長
中川 康子さん（橘町）